

《1》

キンラン（金蘭） ラン科キンラン属

山地や丘陵の林の下に生えるラン科の植物。

高さは約30から50cmの多年草です。

木々の新芽が少し伸び始めたころ、雑木林の中を落ち葉を踏んで歩いていると、木漏れ日を受けてこの花が金色に光っているのに出会いました。

春の花があらかた終わった頃なのでその金色の美しさは印象的であり、開いた花の中をのぞくと、赤い筋が幾筋もありとても美しい。

この花は、多摩丘陵では、今では非常に少なくなっており、絶滅の危機に瀕しています。

新百合山手の公園内で生育しているのは、奇跡に近いといえます。

なぜ、絶滅の危機に瀕しているかと言いますと、里山（雑木林など）の管理のための下草刈りなどが行われなくなり、日の光が当たらなくなったために、生育ができなくなり、貴重種（絶滅危惧種）に選定されております。

このキンランは、発見し家に持ち帰っても庭に植えたり、鉢植えにしたとしても絶対に育ちません。

もし発見しても写真に留めるか、そっと眺めるかしてその美しい姿を大切に育てて頂きたい。

又、このキンランのように金色があれば銀色の花もありますが、この話はまた後日いたします。

